

## JICA カメルーン、出会いと別れの春!! Part 2

さて、3月21日から4月8日の3週間で、5人の方々が新たに着任する一方、3名がカメルーンを離任したカメルーン、今回はそのPart 2、企画調査員2名の離任と1名の着任を紹介、さらに新年度に際し、梅本所長から新メンバーで臨むカメルーン事務所の抱負を伺います。

### 3月30日：神津宗之企画調査員到着！

パリからのフライトが急遽変更となり、パリからイスタンブール経由で一日遅れの着任となった神津企画調査員。ハードなスケジュールにも関わらず、翌日から前任の丸田企画調査員と引き継ぎや関係省庁・機関へのあいさつ回りを精力的にこなし、早くも事務所の主力メンバーとして活躍。実は神津企画調査員、協力隊OB（平成9年度3次隊 セネガル村落開発普及員）。その着任時に空港へ受入助っ人で赴かれたのが当時セネガル事務所員であった梅本現カメルーン事務所長でした。今回、久しぶりのサハラ以南アフリカでの勤務、乾季終わりヤウンデに、「やっぱり暑いですね〜！」と、でも懐かしそうに感想を述べられていました。これから宜しくお願いいたします。



神津企画調査員

### 4月7日：丸田 詠子企画調査員離任

TICAD V が開催された2013年から丸3年間、現在の人員体制になる前から事務所事業を支えてこられた丸田企画調査員が離任されました。着任当初は中小企業振興、給水、環境、要望調査に研修対応など、技術協力開始後3年目の事務所の業務を網羅的に遂行されました。2年目以降は特に環境分野を中心に、広域案件コンゴ盆地持続的森林経営・気候変動管理（COMIFAC）や、科学技術協力（SATREPS）2案件を担当、後続案件の形成にも尽力され、対カメルーン及び中央アフリカ地域における環境分野支援の基盤づくりに貢献されました。丸田企画調査員のかっこいいフランス語が聞かれなくなり、さびしい限りですが、今後のさらなるご活躍を祈念しております。



所内で3年間を振り返る丸田企画調査員

### 4月8日：西尾真也企画調査員（ボランティア事業）離任

2015年10月から6か月間、カメルーン協力隊事業の助っ人として着任した西尾企画調査員。調整員の本来業務のみならず、不在となっていた健康管理員に代わる隊員の疾病対応、2016年5月に迫った対カメルーン協力隊事業開始10周年記念式典の準備、記念パーニュの調達、式場やメディア等の調整等、幅広い業務を文字通り、淡々と、短期集中で遂行されました。特に周囲を驚かせたのは事業パンフレットの更新や隊員活動ビデオの編集など、西尾企画調査員のIT技術とデザイン・センスの良さ！日本ではお遍路さんもやられたことがある西尾企画調査員。帰国する時もスーツケース1つ、世界を渡り歩くバックパッカーのように、カメルーンからも身軽に飄々と去って行かれました。またどこかでお会いできる日を楽しみに。



帰国報告会に臨む西尾企画調査員

カメルーン事務所、新たな春を迎えて。

～梅本所長の感想と抱負

春は出会いと別れの季節、とはいえ、小さい所帯でこれほど多くの人との交代に一度に接すると、さすがに寂しくなりますね。でも、こうやって年を追うごとに人が入れ替わり事務所の雰囲気も徐々に変わっていくのだろうと思います。小生着任から早いもので1年と7か月を迎えました。最初からそれなりに「飛ばしてきた」感はありますが、優秀でやる気のあるスタッフに恵まれて本当に幸せな所長だと思っています。最近ではナショナルスタッフがいろんなアイデアを提案、率先して取り組んでくれています。まさに、カメルーン事務所が目指すのは「全員経営」です。各自が持ち前の得意なことを思う存分に活かしていただければ、言うことはありません。所長としてはそんな風にみんなが仕事をしやすい環境を作るだけです。また、今年は事務所設立/協力隊派遣10周年、ケニアではTICADVIが開かれ、SDGへの取り組みも始まる節目の年です。「おいしいお米プロジェクト」も装いを新たに始まります。また「カイゼンプロジェクト」も本格始動します。あとは環境分野で新しい方向性を出し、そしてインフラ分野でも円借を何とか継続したく思っています。が、あまり肩に力を入れすぎず、「いい感じ」で仕事も遊びも満喫して頂きたいです。ぼんくらーじゅ！

